

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成26年度)

## 2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ③アジア拠点化・国際物流分野(3/5)

	評価区分 (※)	評価結果 (ⅠとⅡとⅢの平均値)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗に関する評価	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	総合評価	
ハイパー&グリーン イノベーション水島コンビナート総合特区 (岡山県)	正	3.8	4.0  進捗度 ・企業間連携によるコスト削減額 142%  ・水島港の輸送効率改善による貨物取扱量 93%  ・企業集積によるコンビナートの成長と雇用の確保 32%	3.5  規制の特例等 ・地域活性化総合特別区域ガス融通事業  ・回送運行効率化事業 等  <u>地域独自の取組</u> ・岡山県大規模工場立地等立地促進補助制度  ・倉敷市企業誘致促進奨励金 等	3.8	<p>・コスト削減額が目標通り達成されている点は評価できる。ただし、コスト・ベネフィットという点にも配慮が欲しい。規制緩和を活用している点も評価できる。</p> <p>・成長分野の企業立地(数値目標(3)－①)について、設備投資額への補助金や交付要件・分譲面積要件などの誘致事業によっても、2年連続で成長分野の企業立地がなかった。「想定以上に企業マインドが冷え込んだ」と分析されているが、その要因をさらに詳しく検討する必要がある。</p> <p>・国際バルク戦略港湾によるハード整備の竣工や金融支援のさらなる活用に期待したい。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。